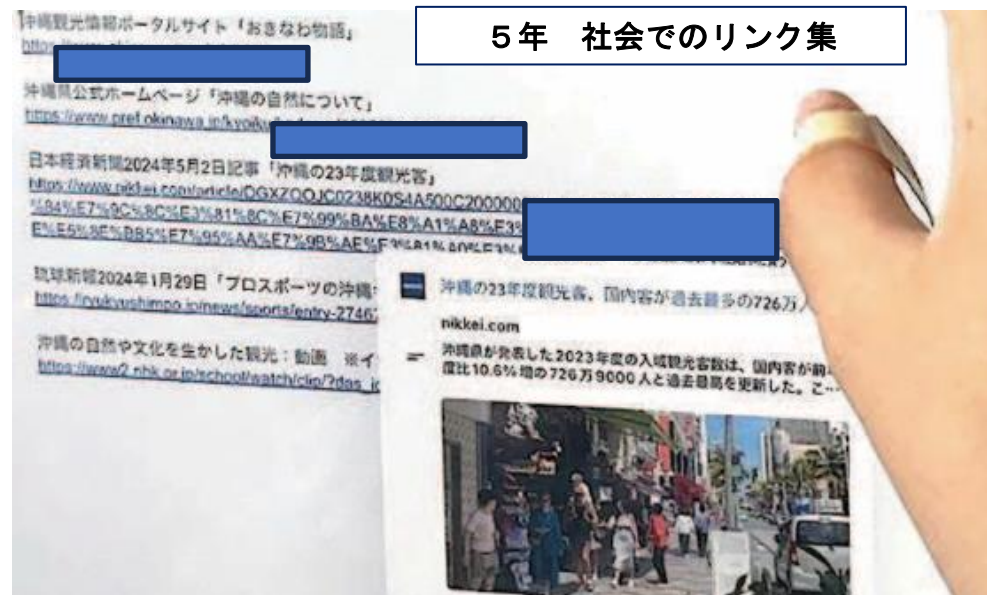


リーディングDXスクール事業 【実践事例】

旭川市立緑新小学校（北海道）【指定校】

【取組内容】一人一人の学びを支える教材準備

5年 社会でのリンク集



4年 国語でのリンク集

お役立ち
アイテム集

○授業において、インターネットを使用して情報収集を行う際、検索スキルの差により、情報を十分に探すことができない児童がいることを考慮し、教師が関連ページのリンク集を作成し、全ての児童が自分の力で学習を進め、必要な情報を収集することができるようにした。

○情報収集を行うにあたり、教科書や資料集からの情報だけではなく、教師が関係する動画やホームページなどの様々な教材を準備したことで、児童は多角的な視点から情報を収集することができた。

リーディングDXスクール事業

【実践事例】

旭川市立緑新小学校（北海道）【指定校】

【取組内容】学級活動における情報モラルの育成

- 6年特別活動の学級活動において、情報モラルを主題とした授業を教育課程に位置付けている。
- 「スマートフォン・ゲーム機などの安全な使用方法について考えよう」の授業では、児童へのアンケート結果や、昨今社会問題となっているSNSに関連する事案を題材とした。
- 情報モラルに関する問題点を明確化し、児童が実際にスマートフォンなどを使用しているときに起きそうな事例を紹介した上で、児童自身に意思決定をさせたことにより、自分の身を守るために気を付けることを考えさせることができた。
- 話し合い活動において、デジタルホワイトボードやスプレッドシートを用いて、個人の考えを可視化し、他者参照を行うことにより、当初の考えと友達の考えを比較しながら、自分の考えを形成する姿が見られた。



デジタルホワイトボードの一部

3班

・どの事件も人と関わって起きていることだから、怖いと思いました。
・インターネットは簡単に誰でも繋がれちゃうから気をつけたいいけないと思います。

・親しいもだちなどでも信用して色々な写真などを送ってはいけないと思いました。

怪しいメールや〇〇するから〇〇してよとかのメールは無視してメールを送ってきた人を無視しよう

一番被害が多いのは、裸の写真で、信用してしまうから被害に遭うと思う

★自分の個人情報やむやみに出さないようにしたいと思いました。

どんなに仲が良くても、変な写真を、送ったら被害に遭う時がある

児童の振り返りより

後で消せばいいやと思って、一瞬でも自分のプライバシーに関する画像、言葉などを送ってしまうと、犯罪に巻き込まれる可能性があること、特に中高生、小学生と、自分たちの学年、これからなる学年が多いので、十分注意しないといけないということがわかった。ネットで知合った友達と仲良くなって、会おうとするのもあまりいいものではないと思ったので、これからは、知らない人とは合わない、犯罪に巻き込まれる可能性があることには自ら入って行ったり入って行ったりはしないなど、さまざまなことに気をつけながらSNSを使っていこう、そもそも連絡手段として意外にSNSを使うのはなるべくやめておこうと思った。また、詐欺メールなどは開かず、親に相談しようと思った。

スマホを使う時に連絡以外に使わないようにすると安全。できない場合は、写真を載せないで文だけにしたら安全だと思います。けど安心するのは良くないと思います。なぜなら、文章だけでばれる可能性もあるからです。タブレットやパソコンを使う時も同じだと思います。写真は、場所がバレないようにすることとSNSに出さなければいいと思います。もし出してしまったら、できる限り早く消す。自分は、詐欺に遭わないなど信じている方がかかりやすいから気をつける！

リーディングDXスクール事業 【実践事例】

旭川市立緑新小学校（北海道）【指定校】

【取組内容】授業と結び付けた家庭での学習の工夫

宿題の学習指示（Googleクラスルーム）

10月11～14日の宿題

①戦国時代の社会の様子を下の動画を見て調べ、フィグジャムに情報を収集しよう。

<https://www2.r>

② オンラインホワイトボード

<https://www.figma.com/board/mfGmxJM9Ung9C6zt1Ei3Ue/%EF%BC%91%EF%BC%9>

③下のクラスのコメントに

※11～18日までiPadを毎日お家に持ち帰ります。充電器も忘れずに持ち帰り毎日充電をしてください。

※社会の学習に関わる宿題が出ます。家で事前学習↑学校で深く学ぶ！イメージです。

※学校の授業の続きに取り組みたい人はお家で続きをしてもよいです。

※持ち帰りチャットはx

※調べ方でお家の資料をもって来たい人はお家の人の許可をとって来てもらってもいいですよ。

宿題で使ったデジタルホワイトボード



授業での振り返りの記述

宿題の時にし出てくれる、社会にドキリを前日見ることによって、それぞれの人物についてや、その当時の社会の動き方についてよく分かるほかに、歌やダンス、語呂合わせによって面白おかしくあり、それでも詳しく知ることができるので「社会にドキリ」は、この授業体制が続く限り、必要不可欠なのではないかと思えます。ほかに、自分はスライドやキーノートにフィグジャムのこと、教科書のことをまとめるときに、どのように言葉を選んでいいのかわからず、教科書を、丸写しするようなことになってしまったので、次回からは、きちんと自分の言葉でまとめ、大切なところに色をつけ、その色つけの中でも、とても大切なところ、大切なところ、覚えといった方がよいところと、何種類かに分けて色をつけ、よりわかりやすくできたらと思います。

○授業での情報収集がスムーズに行えるよう、前日に宿題として動画教材を児童に視聴させ、授業における情報収集と同じ方法でデジタルホワイトボードに情報をまとめさせた。
⇒宿題で作成したデジタルホワイトボードを翌日の授業で使った。

○翌日の授業では、事前に動画を視聴して内容をある程度把握していることで、文字からの情報収集が苦手な児童も教科書からの情報収集を意欲的に行うことができた。また、情報収集の時間を短縮することができたため、まとめ・表現の時間を長く確保することができた。

○児童にとって映像や音声で内容を把握できる動画教材を活用した宿題は、学習意欲を高め、授業での学習効果を高める上で有効な手段として機能した。